

第7号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX (52)1490
発行責任者 石橋 英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp



道南代表团 中央が富樫さん

2015原水爆禁止世界大会・長崎大会

富樫 耀 さん (大成中学校)

伝え支えられる人になりたい

8月7日から9日にわたって開催された原水爆禁止世界大会長崎大会に富樫耀さんが参加しました。代表を送る会の呼びかけで、地域・職場から多くの募金が寄せられま

8月7日から9日にわたって開催された原水爆禁止世界大会長崎大会に富樫耀さんが参加しました。代表を送る会の呼びかけで、地域・職場から多くの募金が寄せられま

富樫耀さんは、道南代表団の一員として行動し、被爆体験の聞き取りなど、貴重な学びの場を経験してきました。実直な

「感想記」を紹介します。

募金ご協力 ありがとうございます

職場、地域の方々から広く募金が寄せられました。お陰様で、長崎大会への派遣が滞りなく実施できました。ご協力に心より感謝申し上げます。

「富樫耀」という一人のフィルターからの原水禁

感想記

せたな町立大成中学校 富樫 耀



「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウオー、ノーモア・ヒバクシャ」この言葉のたびに、会場の6000人が拍手する。被爆70周年原水爆禁止世界大会、この大会を通して、私は冒頭の言葉を、少し自分の中に落としたと感じている。

「1945年、昭和20年の8月9日11時2分に原爆が長崎に投下された」学生時代、何度も教わった。被爆の惨状を写した写真等も見たことはある。でも今思い返せば、傍観者のようなどこか遠い所から見ているような感覚であったと

思う。ただの事実認識であったのだろうか。大会では、被爆者の方々のお話、被爆した建物や品々を、直に見聞きすることができた。それは学生時代、「授業である」とう視点で間接的に見る経験とは大きく違った。自分の意志で、自分の体で感じた「被爆」は事実認識だけで終わるのではない。「これを多くの人に感じてもらいたい、考えてもらいたい」という先の思考へ繋がったのである。

結果的に、このような気持ちになれたことは間違いない。二度と同じようなことが起きてはならないと考えている。た

だ、このような気持ちにならないうる前、2つばかり葛藤があった。本来なら、この文章では先の未来に向かって、何ができるか、何をしているか、というようなことを書かなければならない気がする。しかし、私にはそれが書けない。それ以前に、この原水禁に対する見方や想いが不明確であるからだ。なので、今回は大会を通して、私がどのような葛藤をし、方向性を考えたかを書かせて

(裏面つづく)

9条を守り子どもと若者を戦場に送らないJ9・9行動

いてもたっても
いられない



- とき 2015年 9月9日(水)午後6時
- ところ 江差町東本願寺前広場

主催 戦争法反対行動檜山実行委員会

富樫耀さん「感想記」 表からのつづき



被爆者で語り部の田中さん(中央)とともに(左端)

学び、考え続けよう

私が感じたのは、次のような気持ちである。

一つ目は、「被爆者気持ちや被爆の惨状を分かった気になっ

てはいけない。正直同じような気になる、知っている

ような気になる、被爆者の気持ちをわか

ったような気にならないか、こんなことが無意識に自分

の中で起きてしまうのではないかと不安になった。今回

の大会で感じたことを普遍的に捉えてしま

って、他の見方を考えたり、可能性を考

えなくなるかもしれないと不安になった。

そんな漠然とした心の闇を感じながら

も、最終的にはこのような思考の結果に至

った。被爆は知ることがスタートで、そこから

継続して学び続けることが大切であること

だ。今回は一人の人間として、日本人として

、教師として、スタートラインに立つ

きっかけを得たのだ。そして私の見方

や考え方を

を、様々な人と共有したり、交流すること

で、多くの原爆に対する思考が広が

っていきはじまる。だから、今回の参加

を通して考えようと思っ

た。自分の中で、もしかしたらと恐

れていたのは、「関心を装うことに

自己満足をする」ということであ

った。日米安保、憲法9条改正など、

いわゆる私達の世代でも危機を感じる

問題が、昨今はあがってきている。そ

の中でデモに参加する青年も多い。現

に今大会でも多くの青年世代がデモ

に参加して、全員が、絶対に、とは

2015年度文化活動講座

●9月5日(土) 9:00~16:00
●江差町まなびっく (桧山地域人材開発センター)

八丈太鼓



※申し込みは 0139-52-0858 お早めに

桧山女性教職員交流会

《草木染め》 館小学校学童保育士 村上 嘉子さん

《工作室「はらっぱ」見学》 車いす安全整備士

村上 眞人さん

コーヒーとカレーの店【カンペシーノ】でお食事



と き: 2015年9月12日(土) 午前9時半~午後1時半

と ころ: 厚沢部町館町 工作室「はらっぱ」(旧富里小学校)



主 催: 桧山女性教職員交流会実行委員会

(事務局 桧山教職員組合女性部 0139-52-0858)

た。自分の中で、もしかしたらと恐

れていたのは、「関心を装うことに

自己満足をする」ということであ

った。日米安保、憲法9条改正など、

いわゆる私達の世代でも危機を感じる

問題が、昨今はあがってきている。そ

の中でデモに参加する青年も多い。現

に今大会でも多くの青年世代がデモ

に参加して、全員が、絶対に、とは

言わないが、そういった人たちの中

には「詳しく知らないけど、知った

ような感じで活動し、意識の高さを

アピールすることに重きがある」とい

う人がいると私は思っている。

そのような姿勢は問題の本質を見

ているのではなく、問題の表面を

ダシにして自分のアピールをし

ようとする気持ちは確かにあるの

だ。考え悩むことも大切だが、

それで始めの一步が遠のいてしま

うのなら勿体ない。行動して

いくことで自分の気持ちも整理

していけるだろう、そう信じて

いく。以上のような葛藤を経て、

(終わり)